

(4) 景観形成特別地区の色彩基準

神田川沿川景観形成特別地区

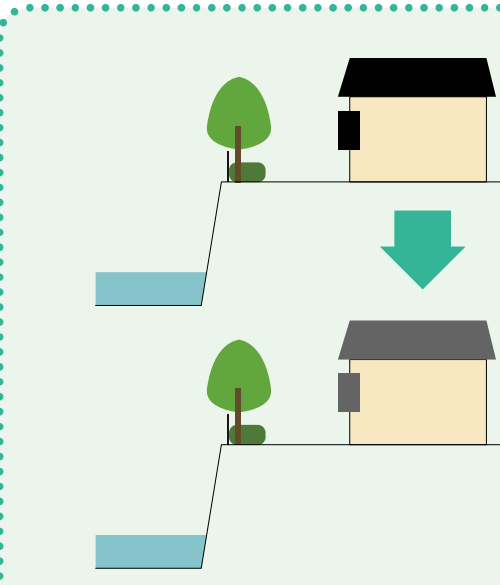
〈色彩景観形成の考え方〉

- 外壁の基本色は、神田川沿川のみどりや水の色彩と調和した落ち着いた落ち着きと潤いのある景観を形成するために、中彩度・低彩度の色彩とします。
- 勾配屋根を設ける場合は、周辺の景観から突出しないように明度や彩度を抑えた色彩を用いることとします。屋根色を黒色とする場合は、黒すぎないよう「いぶし瓦」程度を用います。

〈色彩基準〉

基準の適用部位・面積	色彩の分類	色相	明度	彩度
外壁基本色	無彩色	N	4以上8.5以下	-
	有彩色	OR ~ 4.9YR	4以上8.5未満	4以下
			8.5以上	1.5以下
		5.0YR ~ 5.0Y	4以上8.5未満	4以下
			8.5以上	2以下
その他	4以上	1以下		
屋根色 (勾配屋根)	無彩色	N	6以下	-
	有彩色	5.0YR ~ 5.0Y	6以下	4以下
		その他		2以下

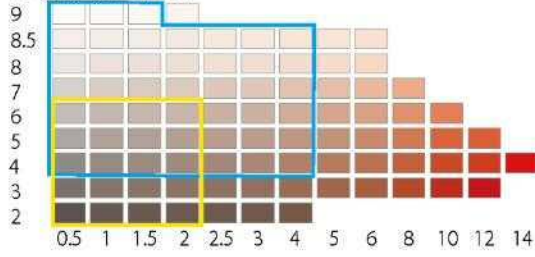
ポイント



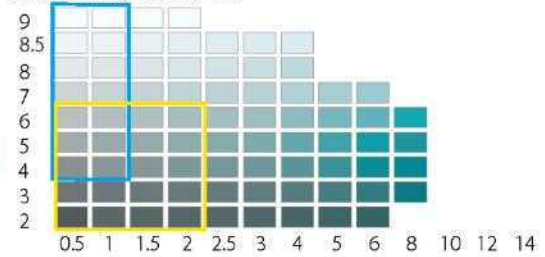
真っ黒な屋根は、街並みの中で目立ってしまいます。周辺環境に調和するよう、屋根色は黒くなりすぎないように配慮しましょう。

■使用可能範囲の色彩イメージ(神田川沿川景観形成特別地区)

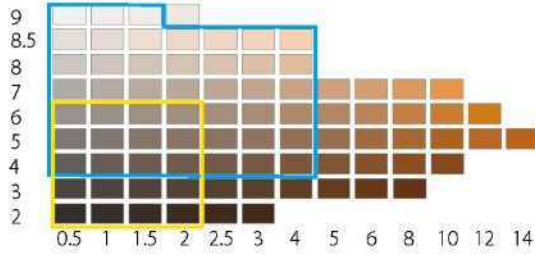
R(赤)系の色相



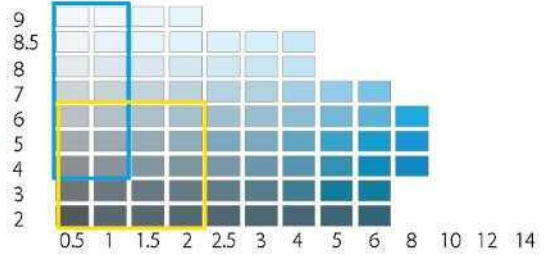
BG(青緑)系の色相



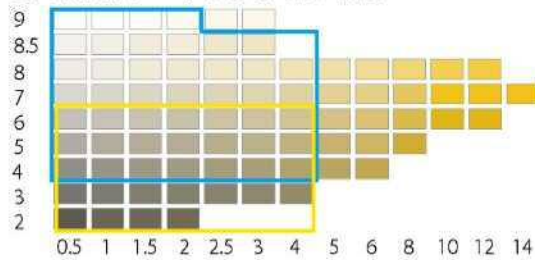
OYR~4.9YR(黄赤)系色相



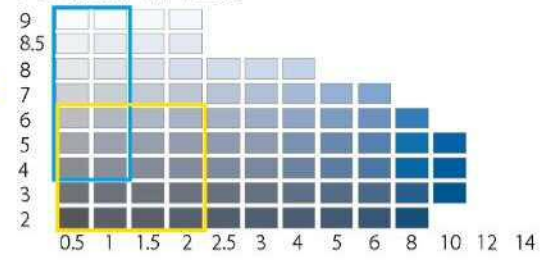
B(青)系の色相



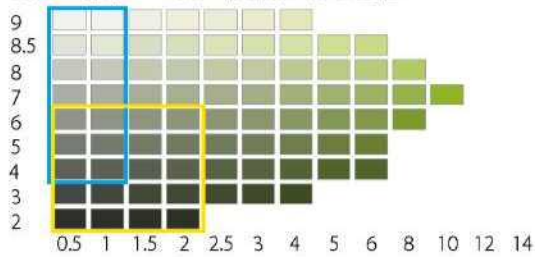
5YR(黄赤)~5Y(黄)系の色相



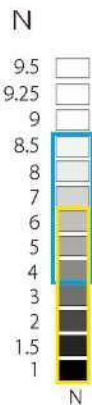
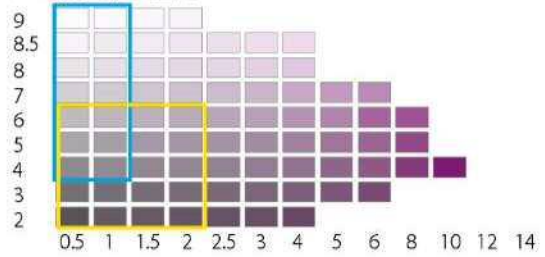
PB(青紫)系の色相



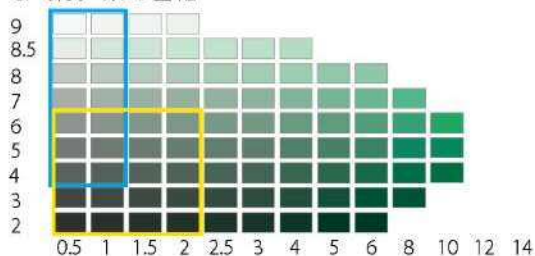
5.1Y(黄)~GY(黄緑)系の色相



P(紫)系の色相



G(緑)系の色相



RP(赤紫)系の色相

